



2010年7月26日

「交通広告グランプリ 2010」各賞が決定！

～ グランプリは(株)白夜書房の『内田裕也 俺は最低な奴さ』～

「交通広告グランプリ 2010」(主催：(株)ジェイアール東日本企画、協賛：東日本旅客鉄道(株)、(株)東京メディア・サービス、後援：(社)全国鉄道広告振興協会)の受賞作品が決まりました。

最高賞であるグランプリは、株式会社白夜書房の『内田裕也 俺は最低な奴さ』が受賞いたしました。

各部門の最優秀部門賞は、駅ポスター部門は日本テレビ放送網株式会社の『第 86 回箱根駅伝「ひと足早いよ大書き初め展」』、車内ポスター部門は株式会社アデランスホールディングスの『ADERANS HAIRCLUB RF-1「アデランスは誰でしょう？」』、サインボード部門はパナソニック株式会社の『ラムダッシュ カーテン広告』、本年度より新設されたデジタルメディア部門は日本マクドナルド株式会社の『McCafe「大集合」篇、チキンタツタ「再復活」篇、福めくりポテト「サンタのお正月」篇、BigAmerica「テキサス」篇/「ニューヨーク」篇/「ハワイ」篇/「カリフォルニア」篇』、企画部門は株式会社100percent の『SAKURASAKU poster』、JR東日本賞は草津町の『草津温泉感謝キャンペーン』が受賞いたしました。

【受賞作品数】 計30点

部 門	グランプリ	最優秀部門賞	優秀作品賞	JR東日本賞
駅ポスター部門	1 点	1 点	5 点	1 点
車内ポスター部門		1 点	5 点	
サインボード部門		1 点	5 点	
デジタルメディア部門		1 点	3 点	
企画部門		1 点	5 点	

【審査作品数】 計1,550点 (昨年は1,450点)

今回より、近年増加しているデジタルサイネージ展開に対応するため、「J・ADビジョン」や「トレインチャンネル」作品を対象とした『デジタルメディア部門』を新設しました。また、審査作品数は過去最多となる1,550点で、前回に引き続き交通広告のメディア特性を活かした作品などが見られる中でも、工夫を凝らした作品や力強さを感じる作品等、質の高い作品が印象的で、交通広告の可能性を感じる作品が数多く集まりました。

【受賞作品展示】

下記の日程で一般の方々に広く受賞作品をお披露目いたします。

・8/9(月)～8/15(日) JR東京駅中央通路「東京中央通路電照デジタルシートセット」にて受賞作品展を開催

◆ 「交通広告グランプリ 2010」 受賞作品一覧 ◆

no.	部門	賞	クライアント名	作品名
1	グランプリ		株式会社白夜書房	内田裕也 俺は最低な奴さ
2	駅ポスター部門	最優秀部門賞	日本テレビ放送網株式会社	第86回箱根駅伝「ひと足早いよ大書き初め展」
3		優秀作品賞	シャープ株式会社	「省エネいちばん。」篇
4			東日本旅客鉄道株式会社	帰省キャンペーン
5			横浜マリノス株式会社	トリコロールのトリコ
6			株式会社ガリバーインターナショナル	企業ブランド広告
7			株式会社ルミネ	ルミネクリスマス2009
8			車内ポスター部門	最優秀部門賞
9	優秀作品賞	株式会社朝日新聞社		ダムダムダムと言い続けて、数十年。気づくと、ムダになっている。
10		サントリーホールディングス株式会社		血圧に、4週間チャレンジ！
11		JRグループ		あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン
12		エイベックス通信放送株式会社		BeeTVキャンペーン
13		ソフトバンクモバイル株式会社		ホワイト学割with家族2010
14		サインボード部門		最優秀部門賞
15	優秀作品賞		クラシエフーズ株式会社	FRISK Hello, Ideaキャンペーン Egg篇・Apple篇/Boy篇・Writer篇
16			株式会社講談社 モーニング編集部	BILLY BAT
17			コンバースジャパン株式会社	CONVERSE 2009春夏広告ビジュアル“MYIDENTITY”
18			株式会社クロスカンパニー	earth music&ecology 2010spring
19			万有製薬株式会社	AGA(エージーエー) 疾患啓発広告
20	デジタルメディア部門	最優秀部門賞	日本マクドナルド株式会社	McCafe「大集合」篇
				チキンタツタ「再復活」篇
				福めぐりポテト「サンタのお正月」篇
				BigAmerica「テキサス」篇/「ニューヨーク」篇/「ハワイ」篇/「カリフォルニア」篇
21	優秀作品賞		東日本旅客鉄道株式会社	「ようこそ雪国観光圏へ」
22			株式会社カプコン	会社も、乗り換えますか？
23			アサヒ飲料株式会社	三ツ矢サイダー オールゼロ「進化する走り」篇
24	企画部門	最優秀部門賞	株式会社100percent	SAKURASAKU poster
25		優秀作品賞	株式会社エンターブレイン	木曜発売にお引越し。
26			茨城県	いばらきさとやま生活
27			明治製菓株式会社	We ♥ “pure”
28			株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント	てるてる→風鈴 早変わりフラッグ広告
29			読売新聞東京本社	巨人軍応援ミュージアム2010
30	JR東日本賞		草津町	草津温泉感謝キャンペーン

◆「交通広告グランプリ 2010」概要◆

主催：株式会社ジェイアール東日本企画
協賛：東日本旅客鉄道株式会社、株式会社東京メディア・サービス
後援：社団法人全国鉄道広告振興協会

【応募対象】

2009年4月から2010年3月までに、(株)ジェイアール東日本企画交通媒体本部が販売・管理を行っている駅および車両(「JR 東日本」「つくばエクスプレス」「りんかい線」「ゆりかもめ」および「JR 貨物」)に掲出された全ての交通広告作品

【応募カテゴリー】

- (1) 駅ポスター部門
- (2) 車内ポスター部門
- (3) サインボード部門
- (4) デジタルメディア部門
- (5) 企画部門

【応募資格】

上記【応募対象】にご出稿いただいた広告主・広告会社・制作会社および制作者様

【審査日 / 会場】

2010年5月31日 / 東京都立産業貿易センター(浜松町館)

【審査員】

審査員長	仲畑 貴志 氏 (コピーライター)
審査員	川口 清勝 氏 (アートディレクター)
〃	十文字 美信 氏 (カメラマン)
〃	副田 高行 氏 (アートディレクター)
〃	田中 里沙 氏 (宣伝会議編集室長)
〃	前田 知巳 氏 (コピーライター)
〃	伊藤 直樹 氏 (クリエイティブディレクター)
〃	鎌田 伸一郎 氏 (東日本旅客鉄道(株) 常務取締役 事業創造本部副本部長)

◆ 歴代のグランプリ受賞作品 ◆

- 1989年 サントリー株式会社、日産自動車株式会社、株式会社伊勢丹
1990年 特別区競馬組合、サントリー株式会社、株式会社丸井
1991年 特別区競馬組合、日本アルミニウム協会、東急ハンズ池袋店
1992年 ラフォーレ原宿、株式会社リクルート、株式会社エフエム東京
※1989年～1992年は各部門（駅ポスター部門・車内ポスター部門・サインボード部門）の最優秀賞
- 1993年 日本ペプシコーラ社『もっと、カロリーをとりたい方へ。』
1994年 東京ガス株式会社『ニッポン人には、風呂がある。』
1995年 ジレット ジャパン インコーポレイテッド『その人、パーカー。』
1996年 株式会社レナウン『J. CREW '96 SPRING&SUMMER』
1997年 本田技研工業株式会社『CIVIC Message』
1998年 株式会社ラフォーレ原宿『LAFORET <NUDE OR LAFORET>』
1999年 サントリー株式会社『のほほん茶 「世の中に、疲れたら。」』
2000年 シャープ株式会社『21世紀に、持ってゆくもの。』
2001年 株式会社宝島社『企業広告（ゴミ袋篇）』
2002年 日産自動車株式会社『new MARCH Debut 篇』
2003年 ビクターエンタテインメント株式会社『Drink! Snap!』
2004年 三井物産株式会社『8colors』
2005年 シャープ株式会社『AQUOS 家シリーズ』
2006年 森永乳業株式会社『Lipton 2005 summer』
2007年 ソフトバンクモバイル株式会社『PANTONE ケータイ』
2008年 株式会社日本放送出版協会『NHKテキスト「きょうの料理」放送 50年キャンペーン』
2009年 株式会社ショウゲート『私がクマにキレた理由』
- 2010年 株式会社白夜書房『内田裕也 俺は最低な奴さ』

◆ 「交通広告グランプリ」の経緯 ◆

「交通広告グランプリ」の原点は、1956年（昭和31年）から開催された「秀作車内ポスター展」まで遡ります。同展は東京近郊の国鉄・私鉄・都電に掲出された車内ポスターの中から選ばれた優秀作品が一堂に会する広告展示会でした。「国鉄広告展」、新幹線の車内や駅を対象とした「新幹線広告展」が相次いでスタート。

それらを段階的に統合する形で、1989年（平成元年）、(株)ジェイアール東日本企画主催による「JR東日本ポスターグランプリ」が誕生。2006年（平成18年）より名称を「交通広告グランプリ」と変更し、JR東日本の他、つくばエクスプレス、りんかい線、ゆりかもめ、JR貨物に掲出された作品も審査の対象としました。